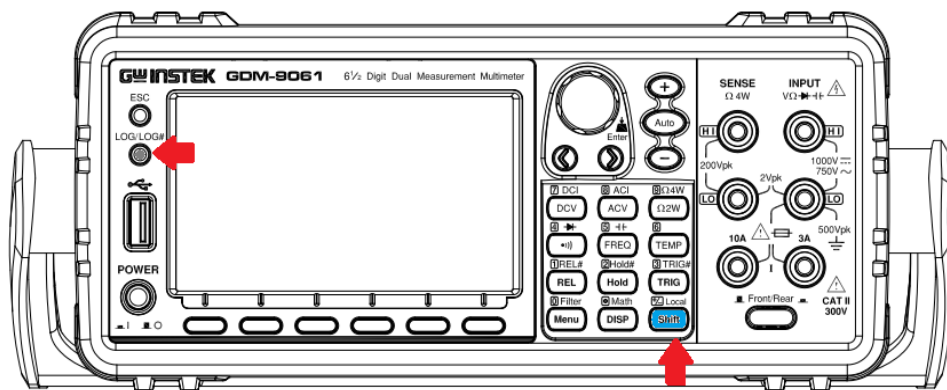


GDM-906X アプリケーション資料


データログ機能(Trigger Delay を使用した時間間隔調整)

本資料では、データログ機能についての応用操作について説明します。
GDM-906X の取扱い説明書も合わせて参照ください。





LOG / LOG# ボタンの説明

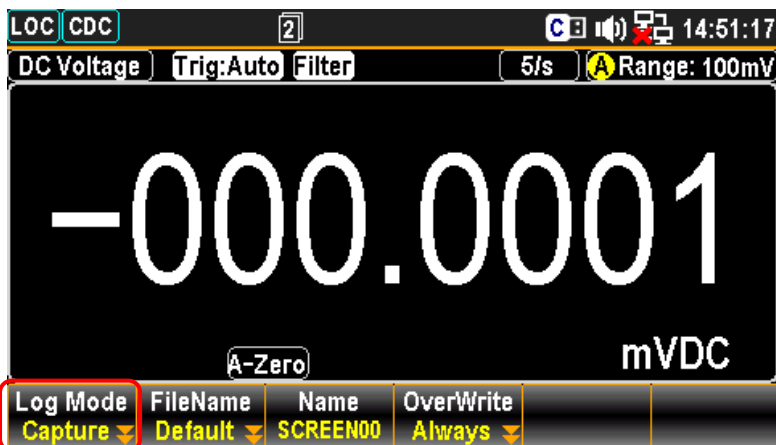
LOG/LOG#

1.  を押すと、フロントパネルに挿入した USB メモリへの保存動作が始まります。
画面またはデータバッファの測定値を保存することが出来ます。

 Local

LOG/LOG#

2.  +  を押すと、ログ機能の設定メニューに入ります。



F1 ログモードの選択 :

F1 Capture : 画面キャプチャモード

F2 SaveRead : 測定値記録モード

測定値記録モードは「S」となります



トリガ・ディレイ設定を利用したデータログ動作

1. 初めに、データ保存する測定機能を設定します。

DCV / DCI / ACV / ACI 等々

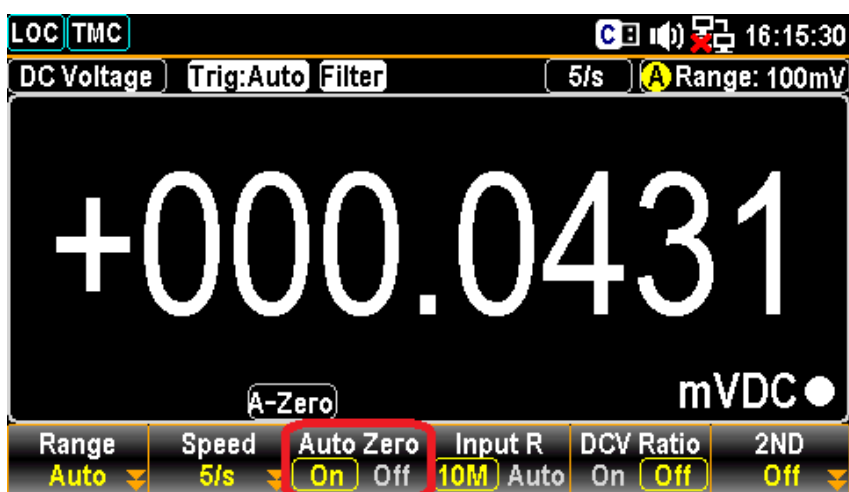
2. Auto Zero の設定をします。

Auto Zero が On の場合、測定間隔は Speed 表示の倍の長さとなります

Speed:5/s -----Auto Zero On : 1 秒間に 2.5 回測定が行われます。(400msec 間隔)

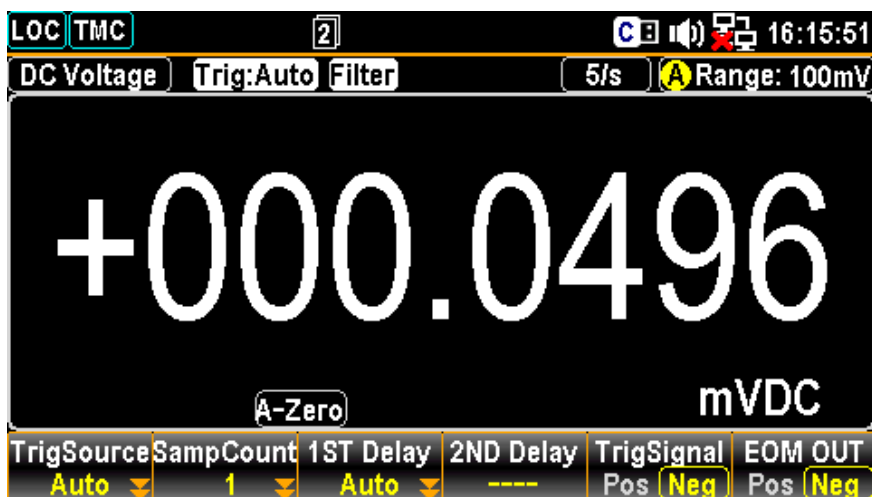
Speed:5/s -----Auto Zero Off : 1 秒間に 5 回測定が行われます。(200msec 間隔)

(長期間のログデータ取得の際は、Auto Zero On をお勧めします)

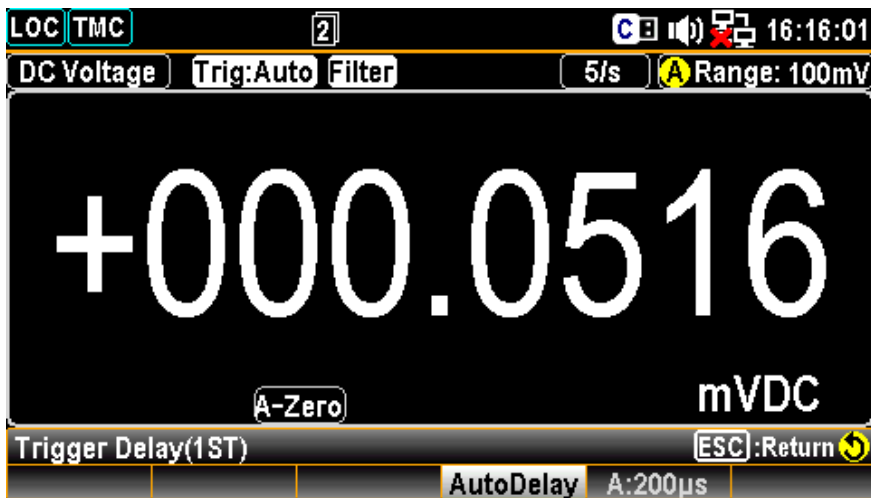


3. トリガ・ディレイの時間設定を行います。ディレイ時間は上記 Speed の間隔にプラスされて測定が実行されます。

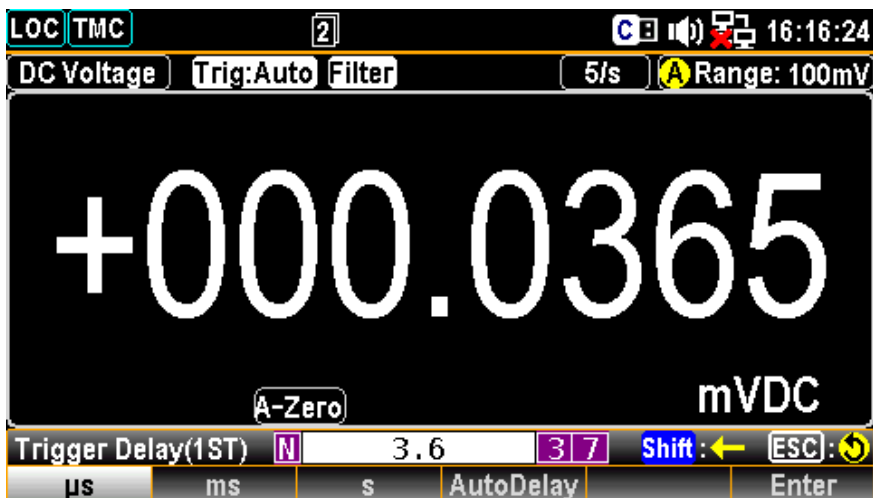
 Local +  TRIG# を押して設定メニューへ入ります。



4. **F3** キー Auto (1ST Delay)を押します。



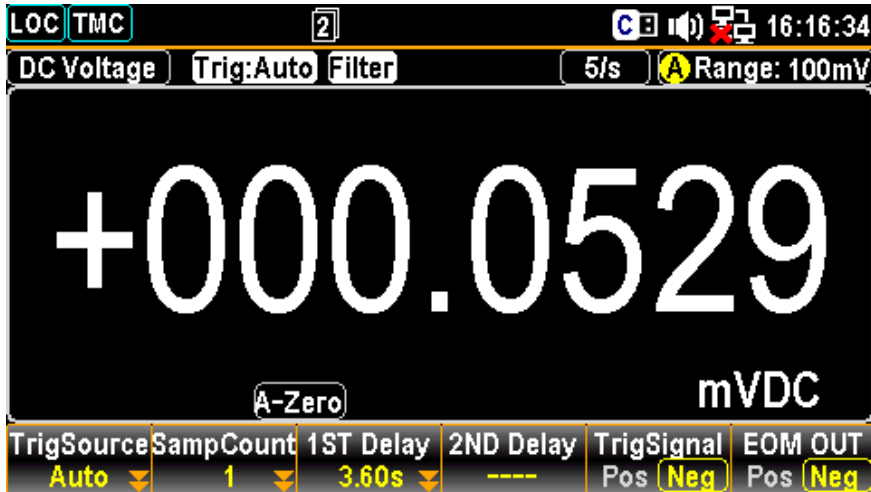
5. さらに**F4** キー Auto Delay を押して、Trigger Delay 設定メニューに入ります。
数値キーで直接値を入力するか、または左右の矢印キー<>とノブで値を設定します。



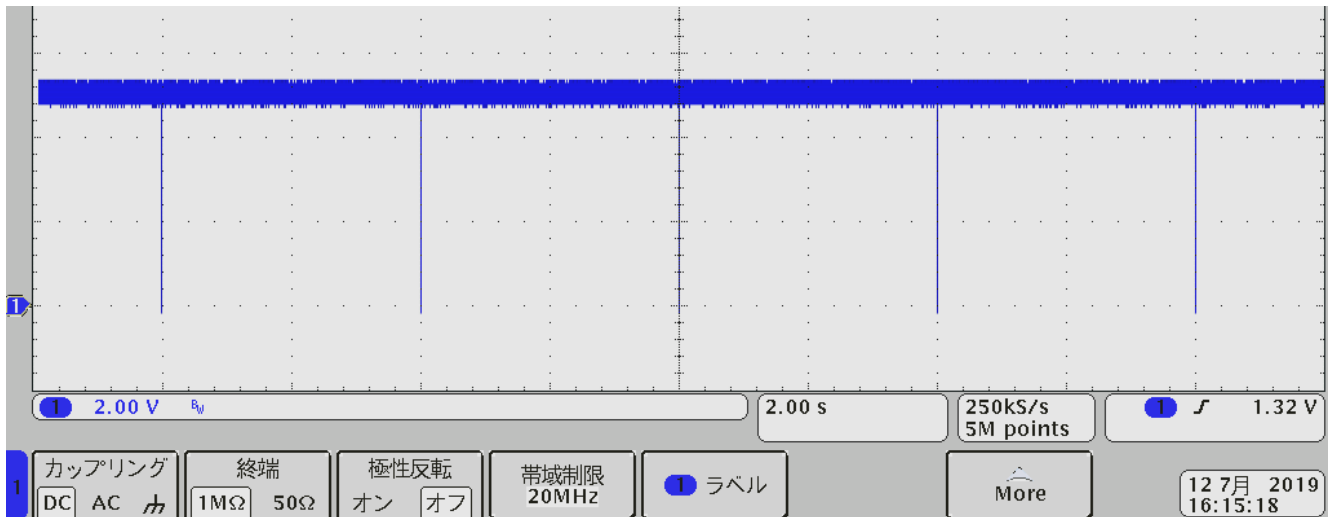
Speed:5/s , Auto Zero On の設定状態で、測定間隔を 4 秒にするには、「3.6 秒」を設定し、**F6** キー Enter で値を決定します。

同様の設定状態で、測定間隔を 30 秒とする場合は「29.6 秒」を、
1 分にする場合は「59.6 秒」を設定します。

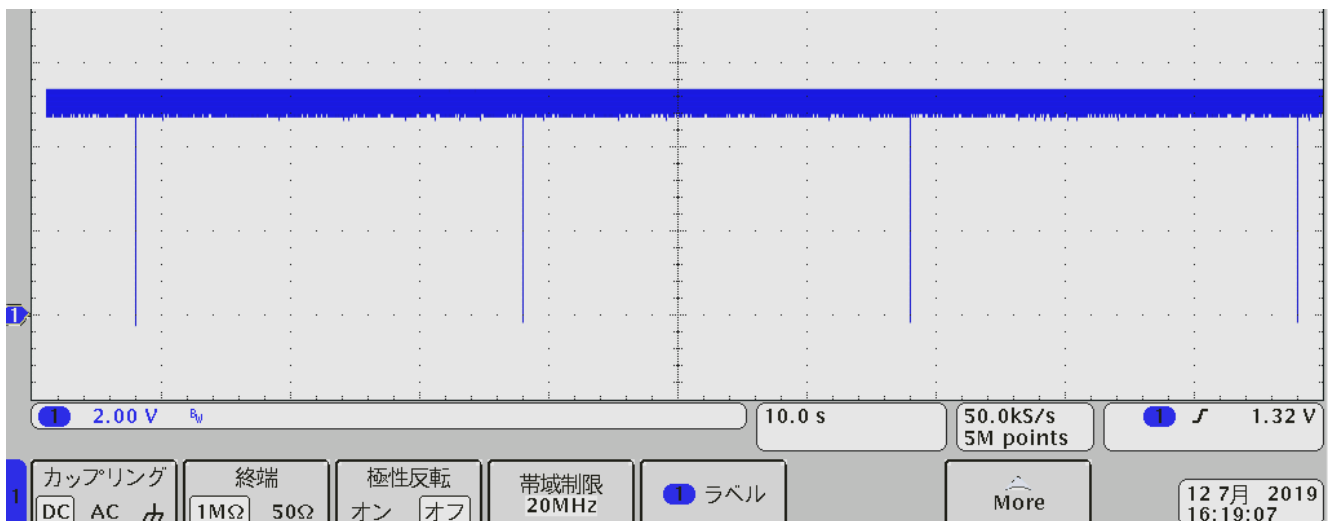
トリガ・ディレイに、3.6 秒を設定した状態。








測定間隔 4 秒の状態、EOM(End of Measurement)出力パルスを観測。

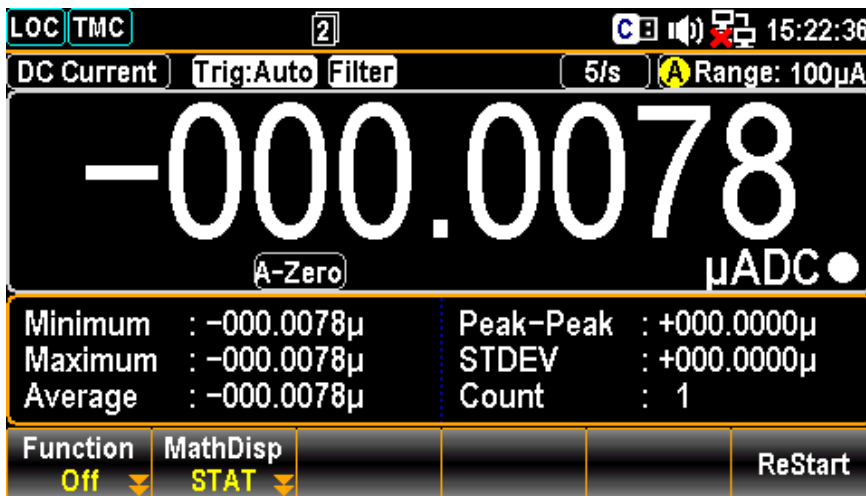



測定間隔 30 秒の状態、EOM(End of Measurement)出力パルスを観測。






6. ログデータの取得状況を分りやすくする為に統計表示にします。

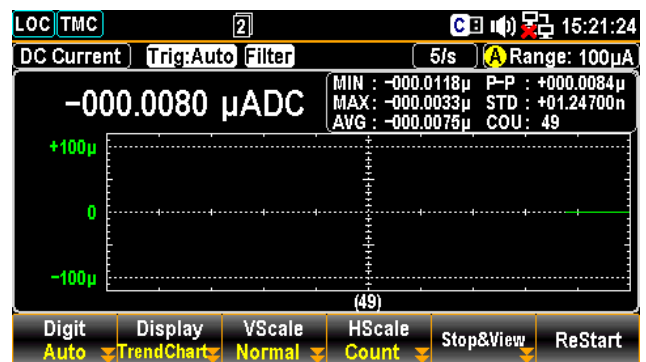
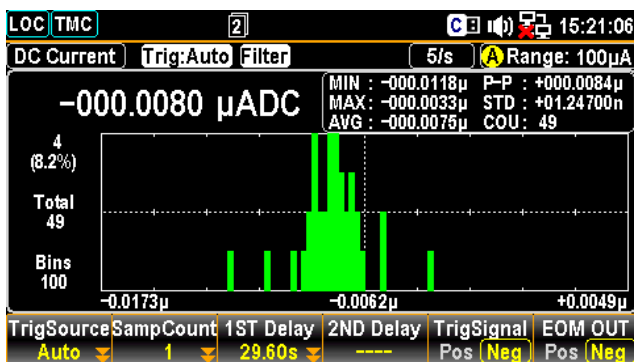
 Local  Math
 Shift +  DISP キーを押し Math モードに入り、 F2 キーを押し MathDisp STAT を ON します。




7.  F6 キー ReStart を押すと設定した間隔で測定が開始され、Count が増えていきます。

必要に応じて、表示をヒストグラムやトレンドチャートに切り替えます。

 Math
 DISP キーを押し、 F2 キーから選択します。



LOG/LOG#

8. USB メモリを挿入し、 ボタンを押すとサンプリング・バッファにある測定値データがメモリに保存されます。

※測定機能を他のモードに切り替えると、サンプリング・バッファはクリアされます。

※測定数がバッファの上限に達すると古いデータから上書きされていきます。

GDM-9060 サンプリング・バッファ 1万 reading
 GDM-9061 サンプリング・バッファ 10万 reading